

# 新島の火山活動解説資料（平成 29 年 4 月）

気象庁地震火山部  
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

## 活動概況

- ・噴気など表面現象の状況（図 2）  
式根監視カメラ（丹後山の西南西約 4 km）による観測では、丹後山山頂部に噴気は認められません。
- ・地震や微動の発生状況（図 3 - 、図 4）  
新島付近を震源とする火山性地震の発生は少なく、地震活動は低調に経過しています。  
火山性微動は観測されていません。
- ・地殻変動の状況（図 1、図 3 - ）  
GNSS<sup>1)</sup> 連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

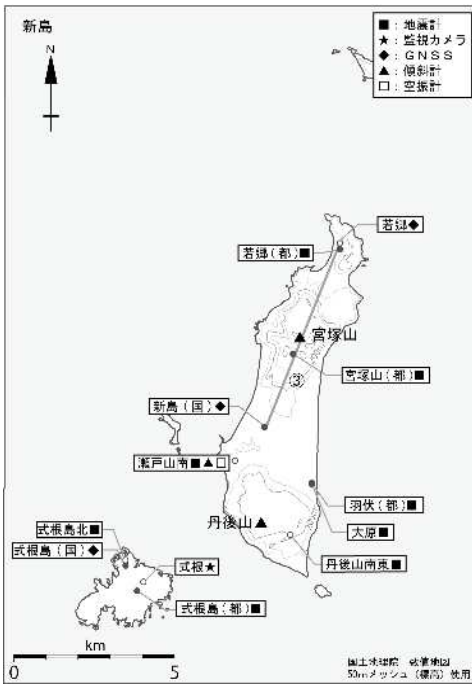


図 1 新島 観測点配置図

GNSS 基線は図 3 の に対応しています。



図 2 新島 丹後山山頂部の状況  
（4月19日、式根監視カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 29 年 5 月分）は平成 29 年 6 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土院、東京大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び東京都のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土院院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。

【計数基準の変遷】  
 A型地震  
 2010年10月1日(観測開始)～ 瀬戸山南から半径8km、深さ20km以内  
 BH型地震  
 初期 2010年8月2日～2013年9月30日 瀬戸山南振幅0.8 $\mu$ m/s以上  
 変更 2013年10月1日～ 瀬戸山南振幅4.0 $\mu$ m/s以上

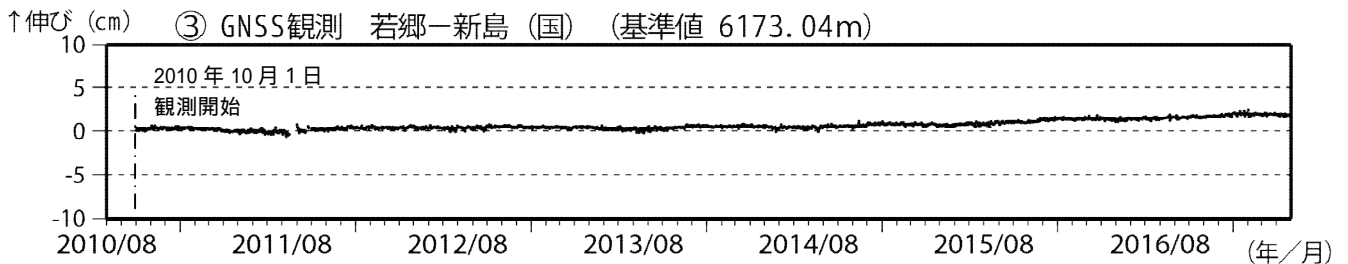
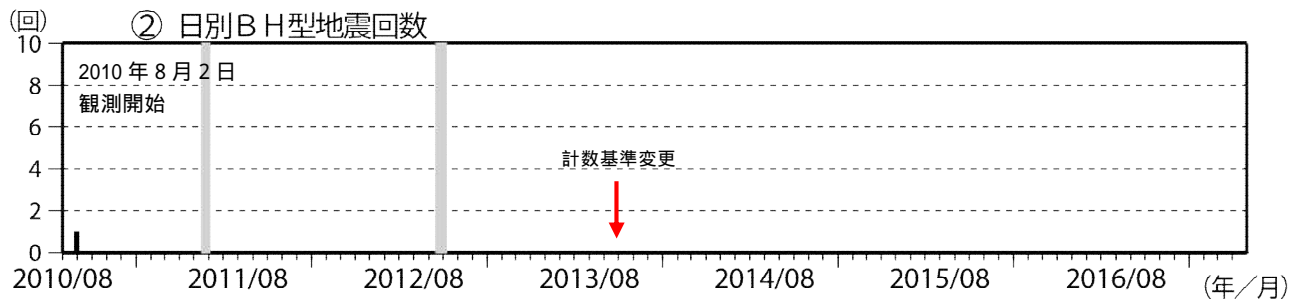
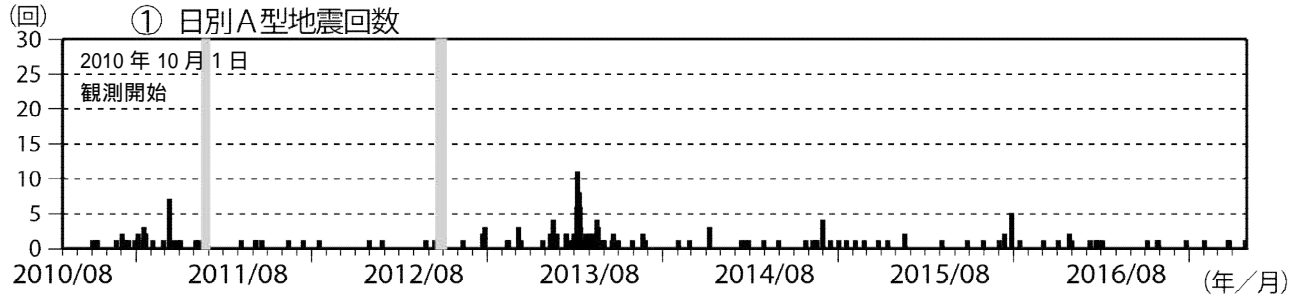


図3 新島 火山活動経過図(2010年8月2日～2017年4月30日)

新島周辺の日別地震回数

・ 図の灰色部分は機器障害のため欠測を示します。

GNSS 連続観測による基線長変化 (国): 国土地理院

・ は図1のGNSS基線 に対応しています。

・ グラフの空白部分は欠測期間を示します。

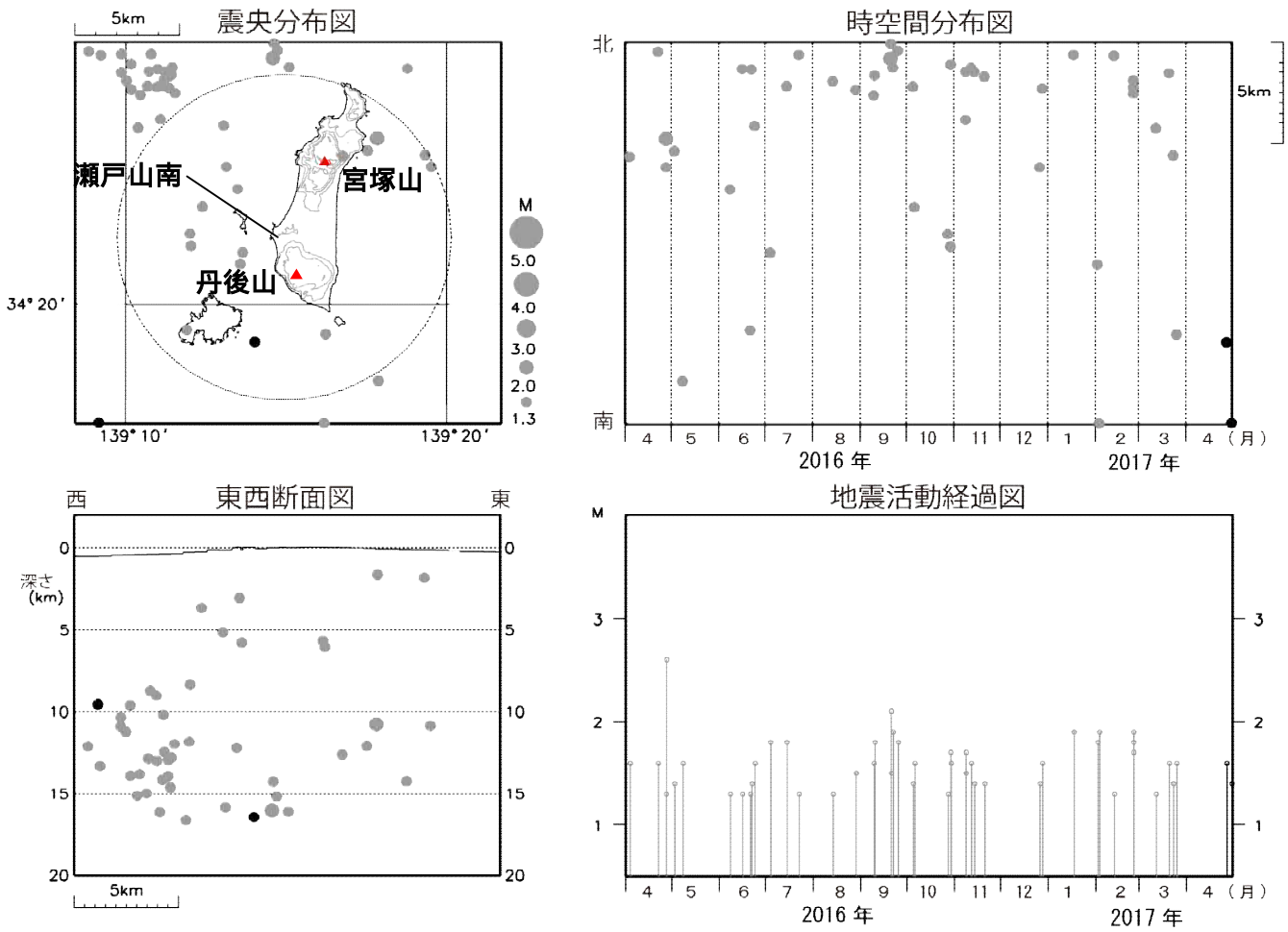


図 4 新島 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動(2016年4月1日~2017年4月30日)  
 : 2016年4月1日~2017年3月31日 : 2017年4月1日~4月30日  
 ・広域地震観測網により震源決定したもので、深さは全て海面以下として決定しています。  
 ・M(マグニチュード)は地震の規模を表し、M1.3以上の地震を示しています。  
 ・図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。  
 ・計数対象(瀬戸山南から半径約8km、深さ約20km以内)以外の地震が含まれるため、図3  
 - の日別A型地震回数とは異なります。